



株主のみなさまへ

第55期 事業報告

2007.3.1 ~ 2008.2.29





TOP Message

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

ここに第55期(平成19年3月1日から平成20年2月29日まで)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

全体の概要

当事業年度におけるわが国経済は、前半は好調な企業業績を背景に民間設備投資の増加、また雇用情勢も改善し、景気は緩やかに回復基調で推移しました。しかし、後半は米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や世界同時株安の進行、国内では円高ドル安の加速、景気の先行き不透明感が増し踊り場的な状態になってまいりました。

小売業界におきましては、ガソリン価格の高騰や食品価格の値上げも重なり個人消費は低調な動きとなり、企業間競争の激化が進むなど厳しい経営環境が続きました。

この様な状況のもと、当社では収益向上を図るため、経営の効率化や財務体質の強化を推し進め、また「心豊かになる生活提案を続け、お客様の感動と従業員の成長と幸福を追求します」という経営理念に基づき、商品とサービスの質を追求し、売場提案の改善とともに品揃えを強化して店舗運営力の向上に努めてまいりました。

この結果、当事業年度におきましては売上高14,972百万円(前年



同期比4.5%減)、営業利益122百万円(前年同期比68.8%減)、経常利益376百万円(前年同期比42.4%減)、減損損失124百万円計上しましたが当期純利益は104百万円(前年同期比823.9%増)となりました。

店舗につきましては、事業の選択と集中をすすめた結果、前事業年度末より2店舗出店し7店舗退店して57店舗(前事業年度末62店舗)となっております。

部門別概要

TSUTAYA事業におきましては、販売用CD、DVDの売上高が低調に推移しましたが、レンタルはCD、DVDの品揃えを強化するとともに利益率の改善に取り組んでまいりました。この結果、売上高は7,548百万円となりました。

BOOK OFF事業におきましては、リユース書籍の雑誌・文庫本・単行本の品揃えを強化し、より多くの幅広い世代のお客様に喜んでいただける店舗作りを行ってまいりました。この結果、売上高は3,270百万円となりました。

また、ゲーム事業におきましては、前事業年度に次世代ゲーム機が発売され売上が伸びた反動と、大型新作ソフトが少なかった影響もあり売上高は減少いたしました。その一方でリユースゲーム販売は順調に推移いたしましたことから、売上高は2,855百万円となりました。

店舗につきましては、お客様の利便性の向上を目指して既存店の改装を行い、また、移転統合により店舗を集約・大型化し、店舗数は1店舗





出店し2店舗退店したことから47店舗となっております。

ファッションその他事業におきましては、各グループごとに商品構成・売場提案の改善を行い販売力の強化に努めました。また、新規アイテムの導入やネット販売などに力を入れましたが、天候不順の影響もあり売上高は減少いたしました。この結果、売上高は1,298百万円となりました。

店舗につきましては、カジュアル衣料販売店舗であるファイブテン柿田川店の全面改装を行いS C型店舗の運営ノウハウの吸収に努めました。店舗数は1店舗出店し5店舗退店して10店舗となっております。

今後の方針

当社はお客様に、お買い物の楽しみや、日々の生活の豊かさを感じていただくために、ライフスタイルを提案する生活提案業として、心に残る感動を提案する店舗パッケージ創りを目指し、業績の向上に取り組んでまいりました。

今後につきましては、当社は経営環境の変化に対応し安定的な収益が確保できる仕組みづくりを目指し、顧客ニーズを捉えた商品やサービスの充実により「顧客満足の創造と追求」を継続して、以下の点に注力してまいります。

- 1 既存店収益力向上のため、店舗運営力を強化してまいります。
- 2 既存店を見直し店舗改装と小型店舗の大型化により経営効率を上げてまいります。



3 出店戦略はロードサイド出店に加え、店舗譲受等により業容を拡大してまいります。

4 リスク管理、コンプライアンス管理体制を強化してまいります。

以上の施策を的確に実施し業績伸長に全力を上げてまいります。また、企業経営環境が変化するなか、経営体制の整備により、健全で効率的な経営を進めていく所存であります。

今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 後藤 行宏



貸借対照表

(単位:千円)

	54期(A)	55期(B)	増減額(B)-(A)
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	3,174,764	2,164,764	△1,010,000
売掛金	85,996	78,923	△7,072
たな卸資産	1,794,725	1,712,397	△82,328
その他流動資産	453,460	499,650	46,189
固定資産			
有形固定資産	5,558,490	5,620,973	62,482
無形固定資産	86,235	44,205	△42,029
投資その他の資産	4,437,403	4,061,783	△375,619
資産合計	15,591,077	14,182,699	△1,408,378
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	717,506	394,792	△322,714
短期借入金	1,814,641	1,094,119	△720,522
その他流動負債	930,732	682,353	△248,378
固定負債			
社債	520,000	480,000	△40,000
長期借入金	516,211	623,040	106,829
その他固定負債	562,872	567,129	4,256,840
負債合計	5,061,964	3,841,435	△1,220,529
純資産の部			
資本金	2,546,671	2,546,671	—
資本剰余金	2,705,505	2,705,505	—
利益剰余金	4,984,596	5,020,450	35,854
自己株式	△317	△317	—
その他有価証券評価差額金	292,656	68,953	△223,702
純資産合計	10,529,112	10,341,264	△187,848
負債純資産合計	15,591,077	14,182,699	△1,408,378

***1 現金及び預金**

売上以外の増減要因

- ・ 敷金・建設協力金の回収 228百万円
- ・ 借入金の返済 △1,313百万円

***2 有形固定資産**

- ・ 減価償却費計上による減少 326百万円
- ・ 減損損失計上による減少 124百万円

***3 支払手形及び買掛金**

- ・ 支払方法の変更による減少 △324百万円

損益計算書

(単位:千円)

	54期(A)	55期(B)	増減額(B)-(A)
売上高	15,677,294	14,972,615	△704,679
売上原価	9,245,407	8,630,100	△615,307
売上総利益	6,431,886	6,342,514	△89,371
%	41.0%	42.4%	△1.4
販売費及び一般管理費	6,040,585	6,220,272	179,687
営業利益	391,300	122,241	△269,058
%	2.5%	0.8%	△1.7
営業外収益	974,413	919,405	△55,008
営業外費用	711,584	664,890	△46,694
経常利益	654,129	376,756	△277,372
%	4.2%	2.5%	△1.7
特別利益	164,411	38,868	△125,543
特別損失	560,331	158,510	△401,820
税引前当期純利益	258,209	257,113	△1,095
法人税、住民税及び事業税	358,000	127,500	△230,500
法人税等調整額	△111,145	24,704	135,849
当期純利益	11,355	104,909	93,554
%	0.1%	0.7%	0.6

*1 売上高

・TSUTAYA 事業	7,548 百万円
・BOOK OFF 事業	3,270 百万円
・ゲーム事業	2,855 百万円
・ファッションその他事業	1,298 百万円
合計	14,972 百万円

*2 営業利益

売上高の減少、販売費及び一般管理費の増加により、売上高に対する営業利益の比率 1.7%減少。

*3 特別損失

・減損損失	124 百万円
・固定資産除却損	33 百万円

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	54期(A)	55期(B)	増減額(B)-(A)
営業活動によるキャッシュ・フロー	639,130	114,598	△524,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,915	△185,675	△246,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,553,181	△722,784	830,396
現金及び現金同等物の増減額	△853,135	△793,861	59,273
現金及び現金同等物の期首残高	3,672,900	2,819,764	△853,135
現金及び現金同等物の期末残高	2,819,764	2,025,902	△793,861

*1 営業活動によるキャッシュ・フロー

・税引前当期純利益	257百万円
・減価償却費	326百万円
・減損損失	124百万円
・仕入債務の減少	△324百万円
・法人税等の支払	△432百万円

*2 投資活動によるキャッシュ・フロー

・敷金・建設協力金の回収	228百万円
・定期預金の払戻	260百万円
・投資有価証券の売却・償還	124百万円
・有形固定資産の取得	△487百万円
・投資有価証券の取得	△174百万円

*3 財務活動によるキャッシュ・フロー

・長期借入れによる収入	700百万円
・短期借入金の純増減額	△697百万円
・長期借入金の返済	△616百万円

主要な事業所及び店舗

事業所名	所在地	店舗数
本部	静岡県沼津市	
カルチャー店舗	静岡県沼津市他	23 店舗
	神奈川県座間市他	14 店舗
	東京都府中市他	3 店舗
	愛知県名古屋市	3 店舗
	京都府京都市他	2 店舗
	埼玉県狭山市他	2 店舗
メンズ店舗	静岡県沼津市	2 店舗
カジュアル店舗	静岡県函南町他	3 店舗
	山梨県富士吉田市	1 店舗
レディース店舗他	静岡県富士市他	4 店舗
合計		57



FIVETEN 柿田川店

改装リニューアル致しました。
イメージも一新し、お客様のご来店をお待ちしております。



TSUTAYA 富士中島店が移転し、TSUTAYA 富士八幡町店としてリニューアルオープン致しました。



BOOKOFF/B・SPORTS 富士中島店

静岡県内最大級の売場面積のブックオフとスポーツ用品・カジュアル用品リユース複合店舗です。

株式の状況

大株主

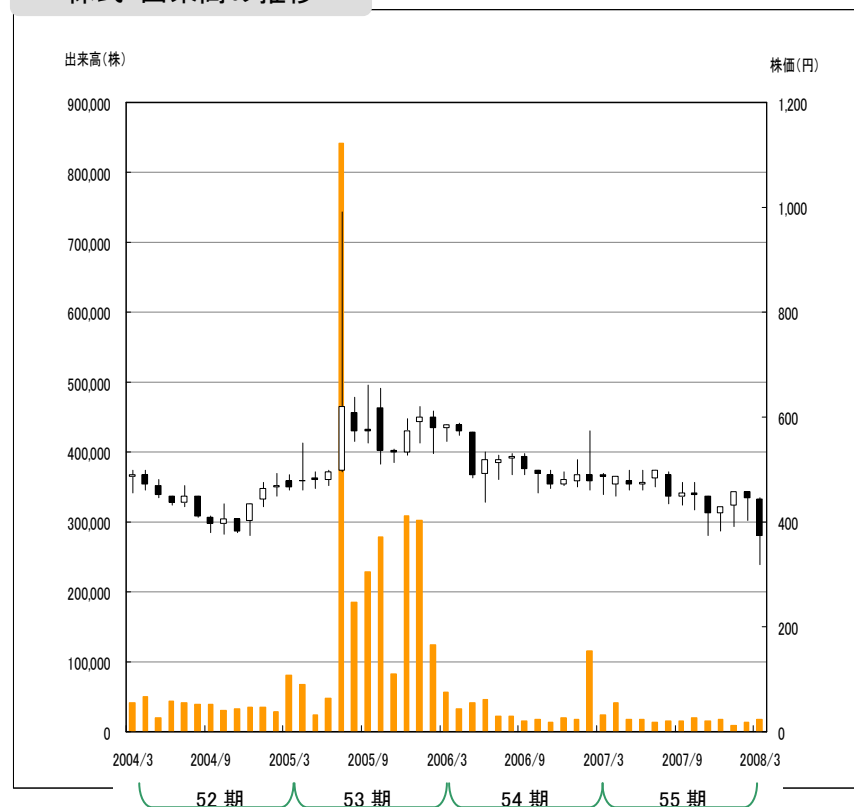
(2008年2月29日現在)

(単位:株)

株主名	所有株式数 (株式比率)
有限会社ゴトーエンタープライズ	3,481,920 (37.8%)
後藤 行宏	1,058,558 (11.4%)
後藤 菊枝	672,832 (7.3%)
有限会社ジーティー企画	520,000 (5.6%)
ゴトー共栄会	467,000 (5.0%)
後藤 全弘	427,150 (4.6%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	231,000 (2.5%)
日本ジャンボ株式会社	188,900 (2.0%)
株式会社静岡銀行	173,000 (1.8%)
株式会社静岡中央銀行	100,000 (1.0%)

■発行可能株式総数	24,634,000 株
■発行済株式の総数	9,207,753 株
■株主数	843 名
	(前期末比 145 名減)

株式・出来高の推移



役員

(2008年5月29日現在)

代表取締役社長	後藤 行宏
代表取締役専務	後藤 久徳 (事業本部長)
常務取締役	土橋 文彦 (管理本部長)

【執行役員】

市川 文宏	(管理本部 人事部長)
後藤 知弘	(内部統制委員会)
高橋 英明	(事業本部 カルチャー事業部長)
小原 政寛	(管理本部 財務部長)
内堀 守	(管理本部 管理部長)

株式メモ	
事業年度	3月1日～翌年2月末日
基準日	定時株主総会については2月末日 その他の必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
利益配当金受領 株主確定日	毎年2月末日
中間配当金受領 株主確定日	毎年8月31日
公告掲載 URL	http://www.gms.co.jp/goto/ 当社の公告は電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120 - 232 - 711
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式数	100株

お知らせ

株式に関する諸手続きについて

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求等の株式に関する諸手続きにつきましては、左記の株主名簿管理人あてにご照会ください。

また、配当金につきましては、銀行口座への振込のご指定ができますので、ご希望の方は、左記株主名簿管理人あてに配当金振込指定書をご請求の上、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

なお、住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求につきましては、株主名簿管理人の左記フリーダイヤルにて受け付けております。

株式会社 **ゴト**

〒410-0063 静岡県沼津市緑ヶ丘10番地の1

TEL (055) 923 - 5100

ゴトホームページ <http://www.gms.co.jp/goto/>